

新町・古町 町屋マークデザインワークショップ通信 vol.3

第3回

町屋マークデザインワークショップ

2014年6月29日 於：PS オランジュリ

- 各班による担当町屋マーク案の発表とプレゼンテーション ●オーナーさん・先生・町屋研究会による講評
- 次回以降（新町・古町マークのデザイン）の説明

1 ついに、各町屋マークの発表の日がやって来ました。それぞれの班が完成させたマークを持ち寄り、班ごとにマークについてのプレゼンテーションを行います。会場となった唐人町のPS オランジュリはレトロな外観の近代建築です。もともとは第一銀行熊本支店だった建物を改装したもので、室内には開放感があって気持ちのいい空間が広がっています。



2 プレゼンでは、まず各班が調べた個々の町屋のことを紹介してくれました。建物の構造や用途、歴史的な由来はもちろん、オーナーさんの趣味や人柄にも言及してくれた班もありました。熱心な取材と研究の跡が見られるのと同時に、学生とオーナーさんの距離が縮まったことも感じられる一場面でした。

発表の中ではマーク創作のプロセスも紹介されました。班のメンバーたちが持ち寄った案の中から、みんなで話し合いながら候補を絞り込んでいった班もあれば、オーナーさんの希望に沿って候補を決定していった班、その他、みんなの案の中から共通の要素を抽出して新たな案を創り出していった班もあったようです。



3 大まかな形が決まった後は、細部を調整しながらマークを洗練していきます。班によっては、ここで描き出したたくさんのパターンの比較検討の過程についても発表してくれました。

完成したマークの解説では、マークの各構成要素とそれらに込められた意味や思いをみなさん熱く語ってくれました。



4 マークのモチーフは、家業に関わるものもあれば、屋号をもとにしたもの、建物の構造的な特徴を反映したもの、オーナーさんの趣味、あるいはそれらの組み合わせなど、各班それぞれに趣向をこらしていました。



中には、オーナーさんが自分の屋敷は「玉手箱」のような所だとおっしゃっていたのを、イメージをふくらませていったという班もありました。



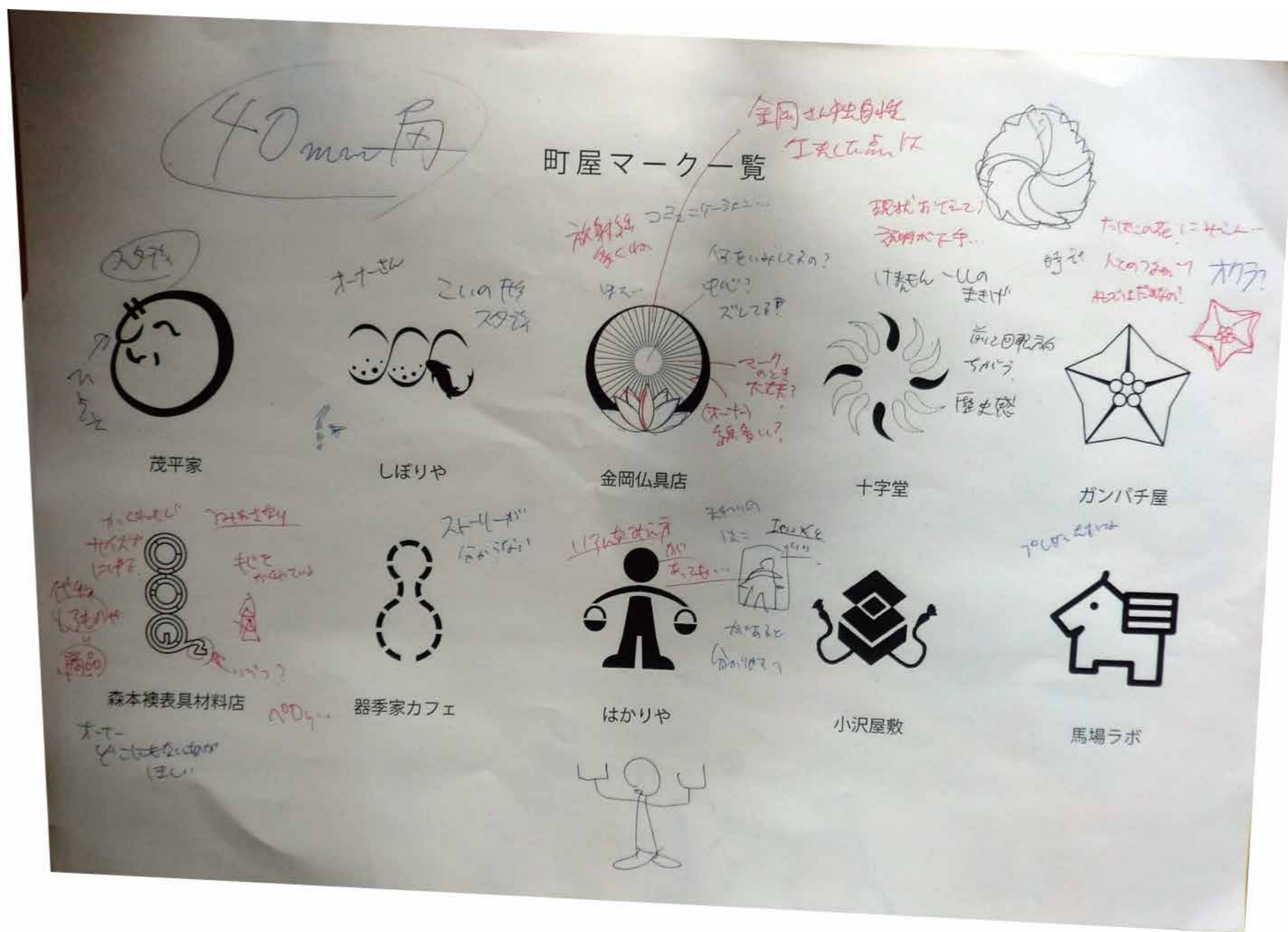
→ 発表

発表後には、先生と町屋研究会のメンバーからいくつか講評のコメントがありました。

また、発表を聴きにいらっしやったオーナーさんたちからも、このマークのここが好き、ここが気に入っている、といううれしい言葉をたくさん聴くことができました。みなさんのアイデアが詰まったこれらのマーク、オーナーさんたちにも末永く使ってもらえるとうれしいですね！



さて、今回各町屋のマークが完成しましたが、ここからは新町マークと古町マークというまち全体のマークのデザインが始まります。今度はいったいどのようなマークが登場するのでしょうか？



完成した各町屋のマーク

